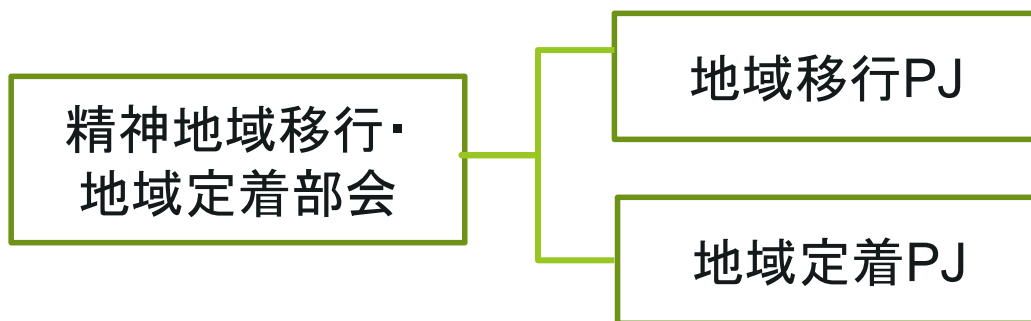


精神地域移行・地域定着部会

平成28年度活動報告

部会の目的

精神障がいの方が、住み慣れた地域を拠点とし、ご本人の意向に即して充実した生活を送る事ができるよう入院中から医療・福祉・保健等で連携して支援が行えるよう体制を構築していく。さらに啓発活動等行い、安心して暮らし続けていける地域づくりを目指す。



地域移行PJ

①長期入院者等との面談

今年度、精神科病床に入院されている15名の方と面談。個別支援会議へのつながりが持てたり、地域の支援者とのつながり・お互いを知る場として、意義のある活動となった。

②事例検討

- ・入退院を繰り返している事例(8/19)
- ・ご家族の高齢化により、キーパーソン不在になっている事例(11/18)

事例検討は、共通の悩みが出されお互いの勉強になっている。また、専門家を助言者として招いたことで、考え方の幅が広がり、参考になった。

地域移行PJ

③研修会「発達障害その理解と対応」(2/1)

発達障がいの傾向がみられるご本人、ご家族の支援に関わる機会が増えており、福岡寿氏を講師に、研修会を実施。

☆来年度に向けて

長期入院者等との面談、事例検討を継続していき、関係機関の連携をさらに深め、ご本人の意向に即した地域での生活を応援していける体制を強めていく。

地域定着PJ

①家族研修会

ご本人にとって身近な存在であるご家族に、理解を深めて頂くことで、ご本人が安心して地域での生活を継続していけるよう研修会を実施。

第1回「こころの病とお薬」(9/3)

第2回「家族の対応の仕方・接し方のポイント」(10/29)

第3回「当事者の体験談＋交流会」(11/19)



地域定着PJ

②資源マップ作成

昨年度、入院中の方の退院の動機づけとして活用できるように資源マップを作成。今年度はそのマップを現場のスタッフが活用しやすい物になるよう第2弾を作成。今後病院等へ配布を予定している。

③仲間としゃべろう会 虹

当事者が集まり、気軽におしゃべりを楽しめる場として、月1回開催。今年度は、中野会場・飯山会場で隔月開催。毎回5～6名の方が参加されている。

地域定着PJ

☆来年度に向けて

- ・暮らしの場の確保が課題となっており、まずは圏域内の公営住宅等の情報収集を行う。
- ・安心して地域での暮らしを継続していけるよう啓発を継続していく。これまで5年程、ご家族に向けた研修会を実施したが、どのような形、対象者が良いのか等今後検討を継続していく。
- ・「仲間としゃべろう会 虹」の継続。

部会全体の課題～来年度にむけて～

- ・高齢化への対応について。地域包括支援センター等高齢者分野の支援機関との連携が必要と思われる。
- ・地域活動支援センターの、市町村を越えた相互利用について。
- ・休日の過ごし方、余暇の充実について。
- ・暮らしの場の確保に向けて、不動産関係者との連携について。

これまで課題としてあがってきているものの、検討が深まっていないものがあるので、今後はそれらについても検討していきたい。